

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2373900469		
法人名	有限会社 愛敬		
事業所名	グループホームみどり 1階		
所在地	愛知県稲沢市北島5丁目55番地		
自己評価作成日	平成27年 9月10日	評価結果市町村受理日	平成27年12月18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 中部評価センター		
所在地	愛知県名古屋市長区左京山104番地 加福ビル左京山1F		
訪問調査日	平成27年10月16日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>毎日外出するよう努めている。 リハビリ体操を毎日行っている。 レクリエーションに力を入れている。 訪問歯科と連携し、口腔ケアにちからを入れている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>事務長と管理者が協力して運営にあたり、自己評価の最終とりまとめは事務長が行った。管理者は介護現場の代表として職員の意見・要望を事務長に伝える役割を担っており、職員の「発言をきちっと聞いてくれる、意見が言い易い」との言葉から、職場の風通しの良さを感じられた。 職員の提案により、今年度からキャリアパスが導入されることになり、職員の介護への意欲も高まった。代表者の言葉である「職員に優しい職場は、利用者にも優しい環境である」を実践し、理念である「入居者は主人公」を追及している。古い写真や映画等を用いた回想法を試みており、「楽しさを満喫している利用者の姿に触れている」という職員の言葉が印象的だった。回想法で利用者の思いや意向を把握し、それが支援に繋がることを期待したい。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り時、職員が読み上げ再確認している。	理念である「入居者が主人公」「尊敬と誇り」をホーム各所に掲示し、職員への意識付けを行っている。朝礼時には毎回唱和し、業務日報にも理念が掲載しており、業務の指針として周知徹底されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の桜まつり、公園掃除・左義長など地域のイベントに参加している。町内会にも加入し回覧板の受け渡しもしている。	地域の草取り・ゴミ拾いには利用者・職員が共に参加し、地域との交流を果たしている。中学生の職場体験や芸能ボランティアの受け入れも積極的に行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	グループホームで開く夏祭りに地域の方がボランティアで参加して頂いている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様、利用者様のご家族、地域の役員に参加いただき今後のサービスに活かしている。	奇数月に市・高齢福祉課、地域包括支援センター、地域総代・区長等の参加を得て、運営推進会議を開催している。ホームの実情・活動報告を主議題に、併せて要望聴取・情報交換を行っている。	会議は、「目標達成計画」に関する進捗状況を報告する場でもあり、参加者の意見を取り入れ、目標の達成に向けた検討の場となるよう期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	施設長、管理者、事務長が地域行事(ごみゼロ運動・グランド清掃など)や運営推進会議を通じて市役所、総代区長、区長等と連絡や意見交換をしている。	運営推進会議には市の担当課職員が参加しており、ホームの実情は伝わっている。地域包括からの急な入居依頼にも柔軟に対応し、利用者の獲得に繋がっている。担当者とは何時でも相談できる協力関係がある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	十分理解しているが、利用者様の安全を確保するため、(興奮状態になってしまい屋外で事故の危険がある方がいる。)事務長が不在の場合、玄関を施錠している。	管理者・職員は身体拘束による理解と弊害を熟知しており、「拘束をしないケア」を実践している。日中は玄関扉、階段、2階の出入り口とも開放している。スピーチロックに陥ることもあるが、その場で注意し、職員の意識向上に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングで話し合い、注意・防止につとめている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個別の話し合いで、学ぶ機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時、改定時の際は家族会を開催し、出席できない方には手紙、電話など個別に説明を行い理解が得られるよう努めている。不安、疑問があるときはその都度説明させていただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会、運営推進会議、施設へ来所された際にご意見をいただいている。来所時スタッフの名前がわからないという声があり、名前入りのエプロンを会社が支給した。ホームページも作成中。	年2回(春夏)の家族会の開催の他、毎月送付している利用者毎の手書きのたよりは、家族アンケートでも好評である。家族の意見を採り入れて名前入りのエプロン着用が実現し、サービスの向上に繋がった。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティング、ユニット会議でスタッフの意見を直接、代表者、管理者が聞いている。	月1回全体会議及びユニット会議が開催され、職員の意見を述べる機会は確保されている。職員の要望で支援に必要な介護機器の設置が実現した。今年度からキャリアパスの導入と諸手当の増額が実現した。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	入浴介助での機材の導入で職員の保健衛生管理の向上をしている。残業はほぼなし。管理者や事務長が現場をフォローする。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月内部研修で身体介護の基本を振り返る。資格取得を推進するとともに、受講等の知らせがその都度スタッフの目に入る場所に置かれている。勤務年数や資格に応じた手当を新設しやりがいをもち働けるよう努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修を受ける機会があり、スタッフ同士情報交換をする機会はあったが、スタッフは活用することが出来ていない。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新しい入居者様のアセスメント票を把握しご本人について気づいたことをスタッフ同士で報告しあっている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	管理者や入所担当者がご家族と面談をし、入居者の現状について情報を共有しアドバイスや介護ケアマネジメントを策定している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族から入所前より要望を聞き取り入れている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフは毎朝、施設の理念を唱和している。入居者様には、食器拭き、掃除、畑の農作業等生活に必要なことをしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人と家族の背景を把握しその間を取り持つよう支援している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	神社やショッピングセンター、喫茶店、図書館などに出掛けられるよう支援をしている。友人の訪問も気軽にできるよう支援している。	友人・知人の来訪時には、お茶を出して旧交を温め、交流の継続を支援しており、電話での関係継続にも取り組んでいる。競輪場へ行きたい意向を示している利用者の、希望実現に向けて日程等の調整を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	散歩やレクリエーションで出来るだけ多くの方に参加していただき、入居者様同士の輪を高めるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院への情報提供など行う。その後も状況を把握するように努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	十分にコミュニケーションをはかり外出や趣味の絵画などを楽しんで頂いている。	利用者の日頃の仕草や表情の変化を見逃さないようにして、意向や想いの把握に繋げている。「大阪の姉に会いたい」という思いを叶えるため、「孫の手サービス(有償)」を活用して、面会希望を実現させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント調査及び利用者様とコミュニケーションを図りその人の人となりを把握してその方に合った支援に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者本人の顔色、気分、状態など気づいたことを日報に記入し申し送り時に報告し情報共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティングを定期的に行い、入居者の言動・行動などを報告しあい状態に合わせたケアを目指している。福祉用具の導入や、病院の受診も視野に入れている。	担当職員によるモニタリングを3ヶ月毎に行い、各ユニット会議でカンファレンスを行って介護計画を作成している。職員によっては、プラン作りに参加している意識が薄く、介護計画と現場支援とに隔たりが感じられた。	つぶやき等から思いを汲み取ったその人らしさの出した介護計画(個別ケア)の作成と、介護計画に添った職員間の支援の共有を期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日24時間個別記録を一人ひとり記入し特変があれば申し送りし情報の共有に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	月に3回ミーティングを行い各々にあった支援を考え、提供するようにしている。入居者様のニーズに合わせ歯科、眼科、理美容サービスを訪問で行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コンビニ、喫茶店、ショッピングモールへ出掛けている。町内の行事(花見・コンサート・餅つき・祭り・もちつきなど)に参加して頂けるものにはしていただいている。散歩の際には近所のお寺へもお参りさせてもらっている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に一度かかりつけ医の往診があり早期に異常を発見できるよう努めている。入居者の心身の状態についてスタッフで話し合い、ご家族へ報告、相談を電話などで行っている。	利用者全員がホームの協力医をかかりつけ医としており、2週間毎に往診がある。専門医への受診は家族対応が基本であるが、有償による柔軟な対応も行っている。必要に応じて情報提供・情報収集を行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションより週2回の定期訪問があり、入浴時や着替え時、パット交換時に入居者の身体を細かくチェックし異変、懸念事項があれば看護師に伝え指示を仰ぐ。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的に状態把握に努め担当医と密接な情報の共有に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	かかりつけ医より状態を説明していただき本人、ご家族の意向を尊重し望む支援をできる限り行っている。	医療的ケアや延命措置をしない条件で、本人・家族の意向があれば、ホームでの看取り支援を行っている。職員から、「重圧もあるが、利用者が普段のままに最期まで穏やかな生活を送れるように支援したい」との言葉を聞くことができた。	職員に過度な負担がかからないよう、人員配置や増員等を考慮して取組まれることを願いたい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時における対応マニュアルを整備し、スタッフ全員が共通理解して対応している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	備品・備蓄の確保、避難訓練を随時行っている。	消防署立会いの下に、年2回の避難訓練を実施している。通報・避難訓練、初期消火には、利用者も参加している。近隣の寺院から、「何かあれば避難場所に使用して良い」との許可も得ている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ誘導の際は、耳元で聞くように心がけている。	家族アンケートのコメントに、「職員の言葉の使い方が良い」との評価を得ており、理念の「尊敬と誇り」の実践が感じられる。トイレ誘導時にもさりげない言葉掛けを行い、周りに気付かれないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様とコミュニケーションをはかってどのようなことを望んでいるかを聞き取るようにしている。本人に決めていただきやすいよう心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者さまの希望に合わせ対応している。施設で準備した企画に参加しない選択肢も準備している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望者には美容師さんにヘアカット・ヘアカラーをしていただいている。買い物に行く機会をつくり好みの服を購入できるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	施設内の畑で収穫を手伝っていただき、調理し提供している。後片付けも無理のないように手伝っていただいている。	庭で栽培している野菜を利用者と共に収穫し、食材に使用している。利用者の状態に合わせた食事形態であり、調査日も口元までスプーンが届かない利用者の腕を支え、「自分で食べる」喜びを支援していた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体重の変化に気を配り医師と相談のうえ、調整している。水分の摂取は特にこまめに行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯ブラシでブラッシングできるよう支援している。口腔ケアガーゼも使用。週に一度、歯科が訪問して口腔内を確認してアドバイスをいただいている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のリズムを把握しトイレ誘導を行っている。なるべくご自分でできるよう支援している。	トイレでの排泄を基本としている。尿意が有る無しに関わらず、定時誘導や利用者に合わせた誘導を行っている。尿意が無い利用者の誘導回数を増やした支援に取り組み、トイレでの排泄が増えた事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便サイクルの把握に努めている。十分な水分をとっていただき、毎日の体操で便秘を予防している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日に限らず、希望者には入浴していただいている。	週2回の入浴を確保しており、毎日入浴の希望者にも対応は可能である。拒否のある利用者には介助者を代えたり、時間・日にちを代える等の柔軟な対応がある。柚子や菖蒲を用いた季節感を楽しむ入浴の工夫もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や習慣により居室で休んで頂いている。居室に温度計を設置し室温を確認、調整している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	訪問看護ステーションと協力し個別記録で管理し把握に努めている。処方に変更があるときは、日報・個別記録に記入して情報の共有をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	遠足(いちご狩り、なばなの里)や外出企画や日々のレクリエーションで一人ひとり楽しみを持って生活していただけるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	随時、散歩に出かけている。隔週の火曜日に喫茶店に出かける。年二回遠足を企画しご家族と一緒に出かけている。大阪の姉に会いに行きたい方の支援し、今年も行く予定。買いたい物を買いたいという企画で外出している。	日常的に畑で野菜の取り入れや、テラスで日光浴を行っている。随時、散歩や買い物に引率して外出の機会をつくっている他、バラ・紫陽花等の季節毎の花見や苺狩りを企画したり、近郊の温泉へも出かけている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持されている方は少ない。自己管理、自己責任で持って頂いている方はいる。欲しいものがあるときは、職員と一緒に買い物に行くよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時、手紙やおみやげなどが届いた時に電話している。毎月の施設での様子を伝える『みどり便り』活用し現況やご希望をご家族に伝えている。携帯電話を持ち連絡をとられる方もいる。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気づくりを心掛けている。季節感のある飾りをコーディネートして飾っている。各所、各部屋に温度計を設置し温度管理をしている。	窓から眺める風景は、一方は住宅街、他方は田園風景が望め、訪問時、黄金色の稲田からは季節(晩秋)が感じられた。壁面には絵画好きな利用者の作品展が常設しており、利用者の孫娘の奏でる演奏曲がBGMとして流れ、温かい雰囲気が感じられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲の良い方同士過ごしたり、相手の方が休みたいときは自室で休んでいただき、一方の方とスタッフと過ごしたり、他の気の合う方と過ごしていただけるよう支援している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具は使い慣れたものを持ってきていただいで使われている。	6畳程の洋間にベッドが置かれただけの殺風景な居室もあるが、馴染みの箆笥や姿見、小型の仏壇やラジカセなどが持ち込まれた居室もある。家族の協力もあり、利用者が居心地良く過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フローア、廊下など手すりをつけてあり、いつも過ごされている場所など安全に自立できる支援をする。より生活しやすいように対応している。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2373900469		
法人名	有限会社 愛敬		
事業所名	グループホームみどり 2階		
所在地	愛知県稲沢市北島5丁目55番地		
自己評価作成日	平成27年 9月11日	評価結果市町村受理日	平成27年12月18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 中部評価センター		
所在地	愛知県名古屋市長区左京山104番地 加福ビル左京山1F		
訪問調査日	平成27年10月16日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外の空気に触れ季節を感じていただけるようにできるだけ毎日外出するよう努めている。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づき意識して利用者様に接している。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の行事参加、なるべく毎日近所を散歩し地域の方と挨拶をかわし会話できるよう努めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	グループホームでのイベントでご家族や地域の方の参加を呼びかけている。 地域の行事には積極的に参加している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様、利用者様のご家族、地域の役員に参加していただき意見交換、助言 評価をいただいている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	施設長、管理者、事務長が地域行事(ごみゼロ運動・グランド清掃など)や運営推進会議を通じて市役所、総代区長、区長等と連絡をとっている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者様の安全を確保するため、(興奮状態になってしまい屋外で事故の危険がある方がいる。)事務長が不在の場合、玄関を施錠している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングや研修会などで、防止策などを共有し注意・防止につとめている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	活用されている利用者様がいるが理解できている職員は少ない。今後、ミーティング等で取り上げ学び活用していく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に契約書、重要事項説明書により説明している。変更点や疑問点は家族会開催時、面会時に説明をしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会・運営推進会議や来所された際にご意見ご相談を承っている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回以上行われる、ミーティング、ユニット会議でスタッフの意見を直接、代表者、管理者が聞き、意見・要望を反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格試験の誘いや、研修参加等個々の職員に応じて対応している。事務長・管理者が現場をフォローする。残業はほぼゼロ。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得を推進するとともに、受講等の知らせがその都度スタッフの目に入る場所に置かれている。介護研修会や外部施設実習などで実技の向上に取り組んでいるがまだまだ足りていないと感じる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修に参加し交流する場を持つことがまだ足りていないと感じる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	傾聴を心がけ『私の気持ちシート』を用いて生活習慣の把握などに努め家族との連携をとり安心した生活ができるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様からの要望をお聞きし安心してご利用いただけるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の安全と安心を第一と考え、過剰なサービスとならないようご家族と話し合いサービス提供に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	理念に基づいた生活の場をともにする関係づくりをしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人を支えるチームの同士とさせていただけるようご家族も支援している。連絡・報告・相談を密にしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	月1回の新聞でご家族様にご本人の様子を伝えている。手紙や贈り物があつた際は電話をするなどの支援をしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係を見極め席替えを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された際も病院での病状把握に努めご家族、ご本人の相談に応じている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	コミュニケーションをとりながら行きたい所や食べたいものを聞いて遠足や食事に反映している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	回想法などでこれまでの生活や暮らしの様子を聞いてサービス計画に取り組むよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の日課や過ごし方は担当者会議だけでなくフロア会議、全体会議でも話し合い、サービス計画書にまとめ個別ファイルにはさんと共有できるようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	気付きシートを利用しスタッフ全員が気づくことのできる体制を整え生活歴から個人の能力を引き出せるよう介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の印象に残った事象を記録している。特変なども記載し職員間で情報を共有し変化が生じた場合はその都度見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	感知センサーや昇降ベッドの使用、身体や精神の状態に応じ、毎朝の申し送り時より即時に対応する。臨機応変に対応している。家族の要望により病院への付き添いや送迎等行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	菩提寺にお参りに行き、地域の方とも交流する。歩いてコンビニに買い物に行く。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科の往診はあったが、歯科・眼科の往診も開始した。皮膚科の往診可能な医師を現在探している。かかりつけ医には週2回、特変事項がないかFAXで知らせている。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションと連携をとり24時間連絡がとれる体制になっている。週2回FAXで入居者の状態を報告しており、週2回の訪問がある。看護に関する助言のほか、血圧の測り方などの社内研修もしていただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された時は生活状況を関係者に伝えるとともに、認知症の悪化、ADL低下防止のため医師、ワーカー、看護師などと相談し早期退院に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態変化、悪化が考えられるときは個別に十分な説明をさせていただき、理解を得られるよう努め、今後について主治医、訪問看護師とも相談をしてご本人様、ご家族様の意向に沿った支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し研修をしているが、経験が浅いスタッフが多く実践に不安を抱えている者もいる。スタッフの経験・技術を把握し急変・事故発生時に管理者がフォローしている。研修を繰り返し行い実践力を身につけられるように努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	備品・備蓄の確保、昼間・夜間想定避難訓練を随時行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ誘導時の声掛け等個々人を尊重し意識して対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	それぞれの入居者様に対して声掛けにより本人の希望や自己決定ができるようにはたらきかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調に配慮しながらそれぞれの生活に合わせた支援を提案し希望に沿った過ごし方ができるよう努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご家族様に好みの衣類を用意していただく。女性の方は、希望により理容師ではなく美容師に整髪していただいている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の好みを聞きながら食事メニューを希望や季節に合わせて決めている。食器拭きなど片付けもお手伝いして頂いている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量、排尿・排便回数などをチェック表に記入し把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科、歯科衛生士と連携し研修を行い入居者様に応じて歯ブラシを工夫し専用ガーゼ等で個別に対応している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表にてパターン把握に努めている。トイレでの排泄をしていただけるよう、排泄のリズムを把握し支援介助している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表と水分チェック表にて排便サイクルの把握に努めている。訪問看護ステーションと連携し対応している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日を決めてはいるが入りたい日に合わせて入浴ができるように支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室のエアコン、衣類、布団などで調整し夜間は毎時間毎に入眠状態の確認をしている。消灯時間は、決めておらず眠らなったら眠っていただけるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が服薬状況について把握できるよう努力している。薬の説明書を個別ファイルに綴じていつでも確認できるようにしてある。変更や臨時薬については、業務日報に記入し申し送りしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	2週に1度、喫茶店に出かける、レクリエーション企画など参加して喜んでいただける事を提供している。食器の後片付けも手伝っていただく。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日散歩に出かけるようしえんしている。毎週火曜日の午前中、喫茶店へ出かける。入居者様の希望で温泉に入浴を目的に外出した。買いたいものを買いにでかける企画も提供している。年に2回家族と遠足に出かける。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理、自己責任で持って頂いている方はいる。買い物の支援は同行して行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	みどり便りを毎月発行していて、ご家族にご自分の暮らしの様子を書かれる方もいる。携帯電話を持ち電話をしている方もいる。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テラスでプランターの花や畑をみながらお茶を飲み四季を感じていただけるようにしている。季節に合わせた飾り付けなどで居心地の良い共有空間を作るよう努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご自分のお気に入りの場所に専用のクッションや椅子を用意している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ポスター・たんす、写真などを持ってきていただき飾っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの位置などを示す標示や入浴日、リハビリの日などを掲示している。		